

海外安全対策情報

【2019年4月～6月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様
が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについ
て、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好とされていますが、各種犯罪は日常的に発生してお
り、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。また、飲酒や交通マナー
に伴う揉め事が多発傾向にあり、些細なことからケンカとなり傷害事件に発展するケ
ースも報道されています。さらに、投資話や恋愛関係にだまされ振り込んだ金が返っ
てこない詐欺、電信ネット詐欺、ネズミ講詐欺などの知能犯犯罪、麻薬などの違法薬
物犯罪が後を絶たない状況にあります。

当地では、飲酒運転に対する取締りが強化されており、自分が飲酒後運転しないこ
とはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗しないように気をつけなければなりま
せん。また、売春などの性的サービスも禁止されており、買春側も取締りの対象にな
ります。

2. 防犯対策

当地では過去に、邦人がスリ、置き引きの窃盗被害に遭う事案や、夜間盛り場など
でトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。このような状況の中、次のような
点にご注意し、犯罪に巻き込まれないようにしてください。

- (1) 外出の際は、周囲の状況に注意し、異変を察知した場合はその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に目立つ華美な服装や行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や夜間薄暗く人通りの少ない場所での移動を避ける。
- (4) 見知らぬ相手からの安易な誘い・要求には応じない。
- (5) 安易な気持ちで違法薬物の受取・使用はしない。
- (6) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理には細心の注意を払う。

3. 事件・事故報道

(1) 失火による山火事（済南市）

4月5日、済南市において2件の山火事が発生した。2件とも、火事現場付近の墓
に墓参りに来て紙銭を焼いたところ、その火が周りの枯れ草等に燃え広がり山火事
となってしまった。2件の失火を起こした容疑者はそれぞれ拘束され、一人は消防
法の規定により15日間の治安拘留、もう一人は刑法の失火罪を適用して刑事拘留の
処分を受けた。

(2) 死亡ひき逃げ（萊西市）

6月11日深夜、萊西市郊外で車両が歩行者をはねる交通事故が発生したが、車両

海外安全対策情報

の運転手はそのまま現場から逃走した。はねられた通行人の死亡が確認され、交通警察が付近の通行記録を捜査し容疑車両を特定、所有者宅へ赴いたところ、当該車両の左タイヤに血痕が付いていたことから、所有者を追及した結果、ひき逃げの事実を認めた。

(3) 窃盗（青島市，萊西市，平度市）

ア 病院内窃盗（青島市）

4月16日、即墨警察の発表によれば、3月下旬に即墨市内の某病院において患者や付き添い者の鞆、携帯電話、財布が連続して盗まれる病院盗事件が発生した。同病院では今年に入ってから10数件の盗難が発生していたことから、警察が捜査したところ、3名の容疑者を検挙。同容疑者の供述によれば、3名で共謀して窃盗を行ったとのこと。

イ 同一留守宅への複数回窃盗（萊西市）

4月18日、萊西市の民家に複数回窃盗を行った容疑者が検挙された。同容疑者は、友人宅に遊びに来たときに、隣家の門が鎖で閉じられていることを見て長期間不在にしていると知り、複数回同宅に忍び込み、家にあった現金合計4650円を盗んでいた。帰宅した家人が盗難にあったことに気がつき警察に通報、警察が同宅付近で張り込みをしていたところ、同容疑者が再度侵入しようと同宅の壁を乗り越えたため検挙した。

ウ 苗木盗難（萊西市）

4月下旬、萊西市の苗木畑から樹齢10数年のアロエの木2株を盗んだ二人組が検挙された。二人組は、友達が経営している会社の玄関が殺風景であると話していたことを思い出し、苗木畑に忍び込んでアロエ2株を掘り出し、同会社玄関に植えた。苗木畑の農家から通報を受けた派出所が捜査し二人組を検挙、15日間の行政拘留に処した。

エ 店舗あらし（平度市）

5月14日、平度市公安局は平度市にあるスーパーに侵入し窃盗を行った被疑者を検挙した。同被疑者は、5月7日、施錠されて無人であったスーパーの入口をこじ開けて侵入し、店内に置いてあった12000円を盗み逃走していた。公安局が付近の監視カメラ映像から被疑者を特定し、公安顔識別システムで照合したところ、前科のある被疑者を割り出したほか、現場に残された遺留物も被疑者と一致したことから検挙に至った。被疑者は5月6日に刑務所から出所したばかりであった。

オ 車上荒らし（青島市）

5月14日市北区公安局は、台東地区で車上荒らしを行った男を検挙した。同男は5月上旬、施錠されていない車両のドアを開けて、車内にあった現金2万円を盗んだことを監視カメラにきろくされていたため検挙された。同男は、青島市内

のホテルでアルバイトしていたが、仕事がつらく給料も安かったため、いつも施錠されていない車両を物色して、施錠されていない車両を発見した際は、夜間に犯行を行っていた。

カ 空き巣（莱西市）

5月17日、莱西市の民家から現金やネックレスが盗難に遭ったとの通報が莱西市公安局にあったことから、公安局が被疑者を割り出し検挙した。同被疑者は、バイクに乗って留守の家を物色し、家の中に侵入して現金等を盗んだ後、部屋の中をきれいに整頓して逃走していたことから、家人が盗難にあったことを気がつくのが遅れていた。被疑者は、これまで同様の手口で7件の犯行を行い、合計1万円の現金などを盗んでいた。

キ 車上荒らし（莱西市）

5月中旬、莱西市で駐車中の車両の窓ガラスが割られ、車内から物が窃盗される車上荒らし被害が連続発生した。莱西市公安局が捜査し、被疑者を割り出して検挙した。同被疑者によれば、5月に莱西市に住み始めてから、莱西市で9件の車上荒らし、付近の即墨、胶州、城陽では5件の侵入窃盗を犯していたとのこと。

ク ネットバンキング盗用（青島市）

5月29日市北区公安局は、他人の携帯電話を借りた際にネットバンキングを盗用して34000元強を盗んだ18歳の女を検挙した。同女は、常連であった飲食店の店主に対して携帯電話で支払いをする際に支払い暗証番号を盗み見た後、自分の携帯電話の充電が切れたと偽り店主の携帯電話を借り受け、隙を見て自分に送金する手段を用い、3回に分けて合計34000元を自分に送金していた。

（4）詐欺（済南市、莱西市、青島市）

ア ショートメール詐欺（済南市）

4月初め、済南市に居住する男性の携帯電話に「車検が切れるので検査を受けるように」との済南市車両管理所を名乗るショートメールが届いた。同ショートメールの指示通りに氏名、身分証番号、キャッシュカード及びクレジットカード情報等を入力したところ、銀行口座から6000元がいずれかへ振り込まれてしまった。

イ 職業斡旋詐欺（莱西市）

4月15日、莱西市公安局は2016年から2017年に職業を斡旋する仲介料として、18名から合計40万円をだまし取って、2年間国外逃亡した容疑者が帰国したところを逮捕した。同容疑者は、ある企業に就職できると偽り、各被害者から1万円から3万円の仲介料を受け取っていたが、実際に就職できた者はおらず、金を返さずにそのまま国外へ逃亡していたもの。

海外安全対策情報

ウ ネット詐欺（青島市）

4月下旬、即墨公安分局にネットゲームのアカウントを購入し相手に金を振り込んだが、アカウントIDやパスワードの連絡がないばかりか相手と連絡が取れなくなったと通報があった。捜査の結果、江蘇省に住む23歳の男の犯行であると判明し、5月中旬検挙した。同男は、数万元の借金があり、返済のためにネット詐欺をすることを思いつき、これまでに浙江省、重慶市、遼寧省などにいる被害者から合計2万元強を詐取していた。

エ 催眠商法詐欺（青島市）

6月14日黄島公安分局は、臨沂市、日照市、青島市などで「利き酒会」を名目にして老人から金を欺し取っていた7名の容疑者を検挙した。同容疑者らは、ホテルなどで「利き酒会」を開催し、卵などをプレゼントして客の老人を集め、抽選会を開催して老人の警戒心を解いた後、高価な酒を販売すると現金を集めて逃走する手段で、これまでに各地で合計十数件、被害総額十数万元の犯行を繰り返していた。

（5）違法薬物販売容疑者引き渡し（青島市）

4月2日、青島市公安局は青島空港において違法薬物逃亡犯の韓国国籍容疑者2名を韓国検察庁に引き渡した。同容疑者らは、2017年に青島市公安局が検挙した違法薬物使用者の供述により判明した薬物販売容疑者であり、韓国検察庁からも同容疑者の逮捕引き渡しが要請されていた。公安局が行方を捜査していたところ、2019年1月8日、同容疑者と共犯者7名を検挙、覚醒剤1.7kgを押収し、今回、韓国側に身柄が引き渡された。

（6）バス車内での痴漢（青島市）

4月21日、青島市を走行中のバス車内で、女性に対して下半身を露出し猥褻な行為をした58歳の男が検挙された。同男は、バス車内が混んでいることに乗じて、バスの後方出口付近に立っていた女性の背後に立ち、体を密着させてズボンのチャックを降ろし下半身を露出させていたところ、振り向いた被害者女性が同行為を発見し、周囲に助けを求めて男が取り押さえられた。同男は当初、犯行を否定していたが、車内の監視カメラに犯行が記録されていたことから検挙に至った。

（7）鍾乳石損壊（臨沂市）

4月30日臨沂市公安局は、臨沂市の沂水天然地下画廊景区の洞窟にある鍾乳石でできた「比翼鳥」と呼ばれる天然石を壊し、一部を持ち去っていた三人の観光客を検挙した。同観光客らは、4月21日午後、「2羽の比翼鳥」の尾の部分の石を叩き壊して尾を持ち去っていた。同景区従業員によれば、地下画廊がある洞窟は400～500万年前に自然形成され、「比翼鳥」も100万年の時間をかけて形成されたもので、人工的に修復することは難しいとのこと。

（8）地下鉄車内乞食（青島市）

海外安全対策情報

4月11日、地下鉄車両内でろうあ者を装い、客から二次元バーコードを使ってお金を受け取っていた2名を地下鉄行政執法員が事情聴取をしたところ、実際はろうあ者ではなく、毎日地下鉄車両内で乞食行為を行っており、1日に100元以上を稼いだこともあったと話した。青島市鉄道交通条例では、鉄道車内での乞食行為を禁止しており、50元以上100元以下の罰金に処せられるところ、最近2ヶ月間で5件の乞食行為を取り締まっている。

(9) 乗客による飛行機非常口開放(済南市)

4月下旬、済南空港に着陸し乗客が降りている山東航空の機内で、ある乗客が勝手に非常口を開けたことから、搭乗していたスカイマーシャルに取り押さえられた。同乗客によれば、早く降りたかったのと好奇心から非常口を開けたとのこと。同乗客は行政拘留10日間に処せられた。

(10) 水難事故(平度市, 即墨区)

6月9日の1日で3名の子供が水の事故で亡くなった。9日午後2時過ぎ、3名の小中学生が即墨区の川で泳いでいたところ、小学5年生1名が溺れ、それを助けようとした中学2年生1名も巻き込まれた。まもなく両名は引き上げられたが、死亡が確認された。また同日午後3時ころ、平度市で10歳の男の子がいなくなり、水が貯まっている炭鉱跡を捜索したところ、沈んでいる男の子を発見、引き上げたが死亡を確認した。

4. 治安対策等報道

(1) 飲酒運転取締統計(青島市)

本年5月1日で飲酒運転の罰則が強化されてから8年が経過するところ、同8年間で青島市交通警察が検挙した飲酒運転は83,850件であり、最近3年間では、2016年15,269件、2017年7,720件、2018年23,440件であった。青島市交通警察によれば、長年の取締強化でも飲酒運転の総数は減少していないが、飲酒運転に起因とする交通事故は減少している。また、運転業の運転手による飲酒運転は減少しており、自家用車の運転者、特に成年男子による飲酒運転が多くなっているとのこと。

(2) 違法薬物取締統計(山東省, 青島市)

ア 山東省

2018年山東省では違法薬物刑事事件で3,700件、3,800名の容疑者を検挙、各種違法薬物720kgを押収、違法薬物製造事件では120件を検挙し、違法薬物製造に使用される薬物50トンを押収した。現在、山東省では10.4万人の違法薬物使用者が登録されており、2018年一年間で新たに4,941名の使用者が登録された。使用される薬物は、覚醒剤などの化学合成麻薬が96%を占めており、ヘロインなどのアヘン合成麻薬は4%となっている。

イ 青島市

海外安全対策情報

5月31日青島市公安局は、押収した覚醒剤、ヘロイン、ケタミンなど180キロ、末端価格3600万円の違法薬物を焼却処分した。公安局によれば、2018年1月から2019年5月までに青島市内で900件の薬物犯罪を取締り、270キロの違法薬物を押収、被疑者1000名を検挙、新たに1300名の違法薬物使用者を登録した。違法薬物使用者は2014年に前年比38.43%増加していたが、年々増加率が下がり、2018年は-0.38%と減少に転じた。また、全市内で18歳以下の違法薬物使用事件は1件も発生しなかった。

(3) 大衆型経済犯罪統計（青島市）

6月6日青島市中級人民法院の発表によれば、2016年から2019年5月までに青島市全法院で結審した大衆型経済犯罪は、2016年42件、2017年53件、2018年62件、2019年5月までで28件と年々増加傾向にあり、被害額は総額36億元強、事件関係者は2.4万人でその内62%が60歳以上の老人である。主な犯罪類型は、高利をうたって金を集める、大型プロジェクトへの投資と詐欺投資を集める、投資信託と詐欺金を集めることである。

(4) 知的財産権審理統計（青島市）

青島市中級法院の発表によれば、2016年から2018年の3年間青島市で審理された知的財産権案件は5975件とその前3年間よりも74.3%も増加した。特に2018年だけで2528件と、3年間総数の42%を占めており、審理件数が増加傾向にある。審理案件内容では、「中華鉛筆」、「一得閣墨汁」などの中国ブランドや外国ブランドの「CK」、「BURBERRY」などの知的財産権を保護した。

(5) 電動車事故・違反統計（山東省、済南市）

ア 山東省電動車事故統計

山東省公安厅によれば、2018年山東省内において電動車が起こした交通事故は854件、死亡者は106名、負傷者は927名であり、2019年山東省内で処理した電動車の違反行為は14.2万件と前年同期比97.2%の増加であった。現在、公安厅では、今年8月末から一定の基準に達した全電動車のナンバープレート登録・設置、基準に達していない電動車へ3年間の臨時ナンバープレート交付を計画しているとのこと。

イ 済南市軽車両による交通違反統計

済南市では今年に入り、電動バイクなど軽車両による違反を68000件処理した。内訳は、逆行が4万件弱で過半数を占め、信号無視が約2割の12000件強、軽車両車線以外の走行が1万件強であった。済南市交通警察は、2017年から顔識別システムの設置を始め、これまでに118カ所の交差点に設置し、人や軽車両による信号無視を自動で撮影している。

(6) 外国語110番通報体制（青島市）

青島市公安局は、110番通報センターでの外国語通報体制を確立した。英語、日

海外安全対策情報

本語、韓国語、フランス語、ロシア語の5カ国語の通訳人を24時間体制で配置し、外国人による110番通報受理に備えている。

(了)